竹取物語

山東菴京山作
香蝶樓國貞画

五編

へ13
3690
5

竹取物語五編上

竹と玉

五編

下

森治

梓

京山作

竹取物語五編上

竹と玉

五編

下

京山作

國貞画

森治

梓

門へ13
號3690
卷5

竹取物語 上冊

五編

天保十一子春脫稿
同冬上梓
發販
錦森堂

狂詩七絶

竹取五編形板成圖真盡の
動人情小供業玉草及子晒恥
爭ゝ載作名
近来作者多如孔蟲雖又出中孔亞乃
頭採葦雖書人癖形一番下十八
是山東

京山人題

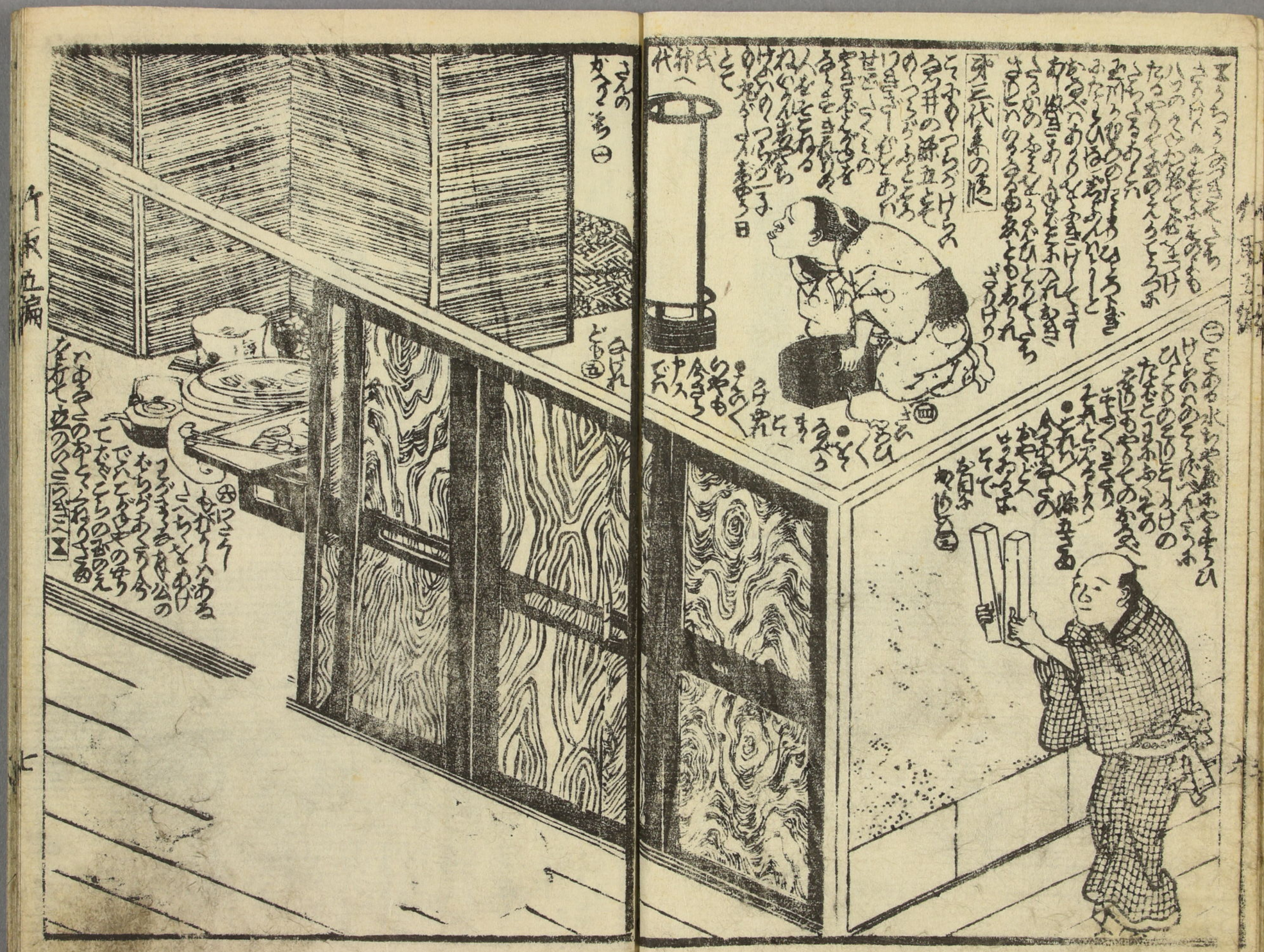
隅田河謡曲
実や人の歌の
道行人に
何と尋ぬらん
関の東の

第一 少正やくさの浪
松若丸
作者 山田

つぐさ初せ
ゆくつら
のこり九弁

松若丸
ところの王

松若丸
のとや弁
のつぢ



つぐね初せ

清川

きよ川
こまの小ざる
竹取五編上終
●天保元甲上
京たち南てんま町
三丁目越かど
くすりの仙女香
黒油
美玉香
四一八銅
仙女香
山東庵京山作
香蝶樓國貞画

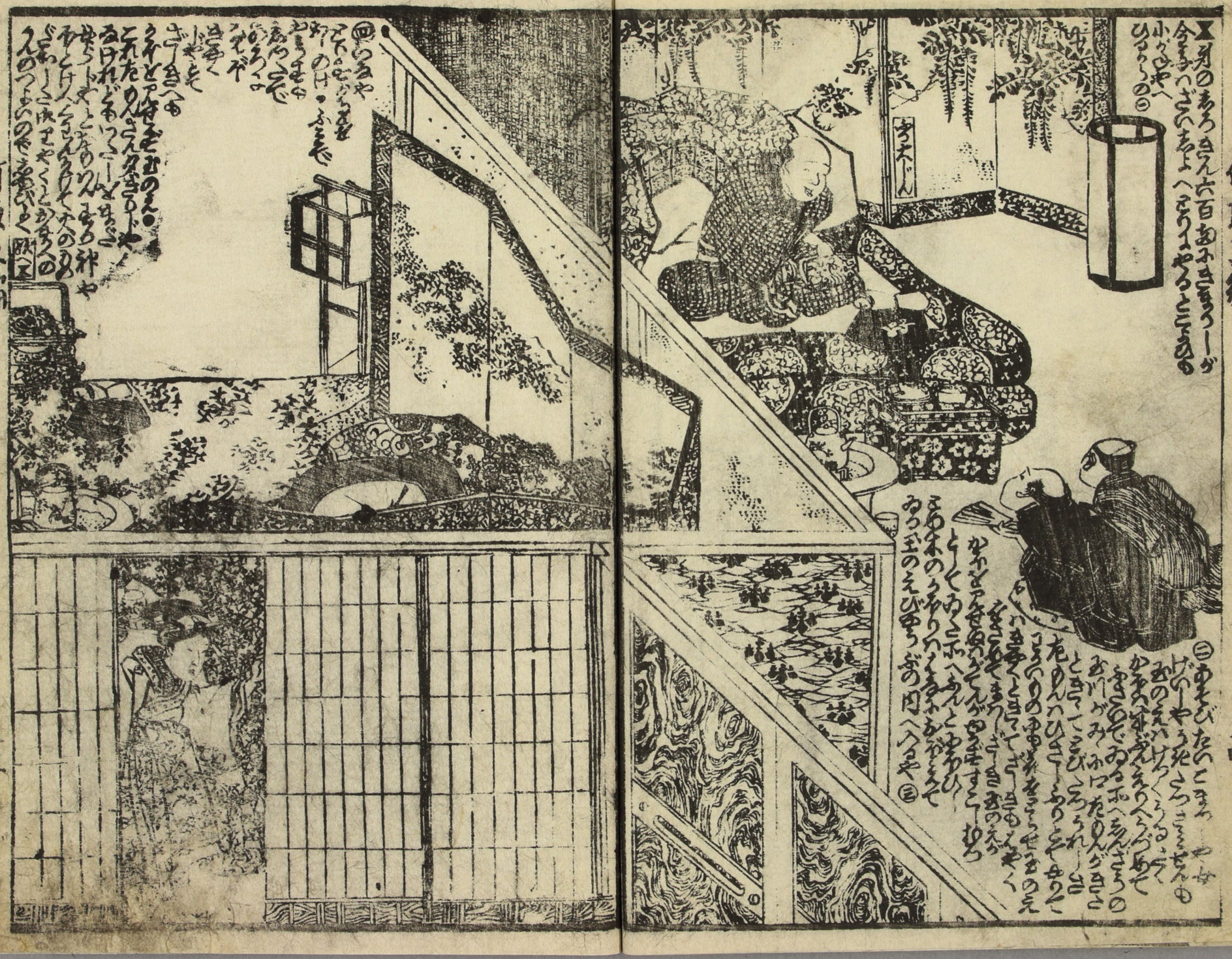
かくて次の日つぼの内せおまきのきよ川をつれてきへよりいでゝ●こゝにきよ川さくだんをまもりてその内どもとりこるゆ女ゆへまもりまもるとそこゝろきこゝろそこのさるものゝこのかつぢを見てくそのかるゝこゝろびとくして白ゝとすまをもきあの五ゝそこちよゆうゝありがくてこゝろこれはまア なのひもとゝ見てゝ

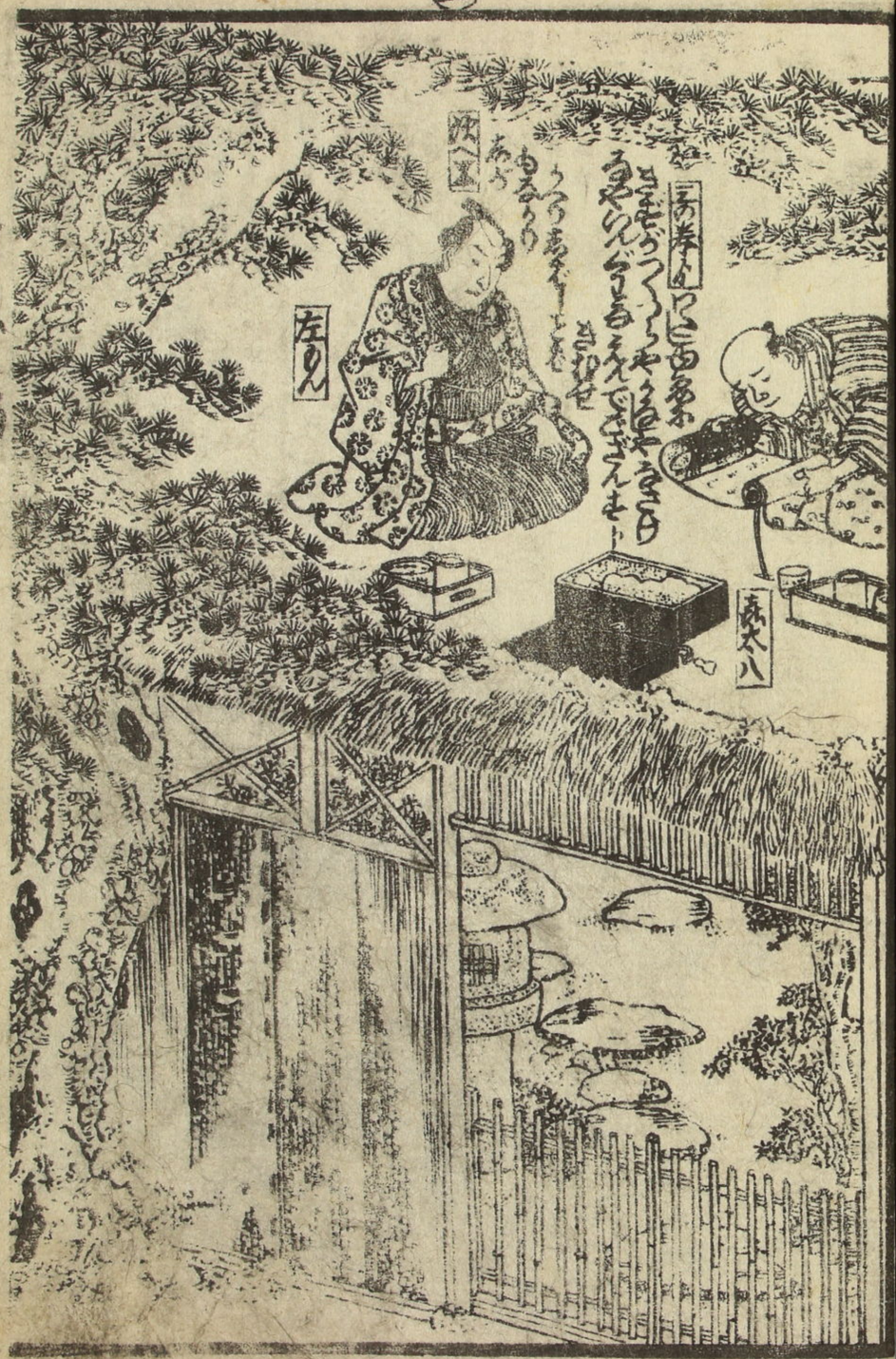
ちよう●りやくさうでこゝに第りくの女中のこゝろのるゝそこゝろこのちゝこゝ分あり

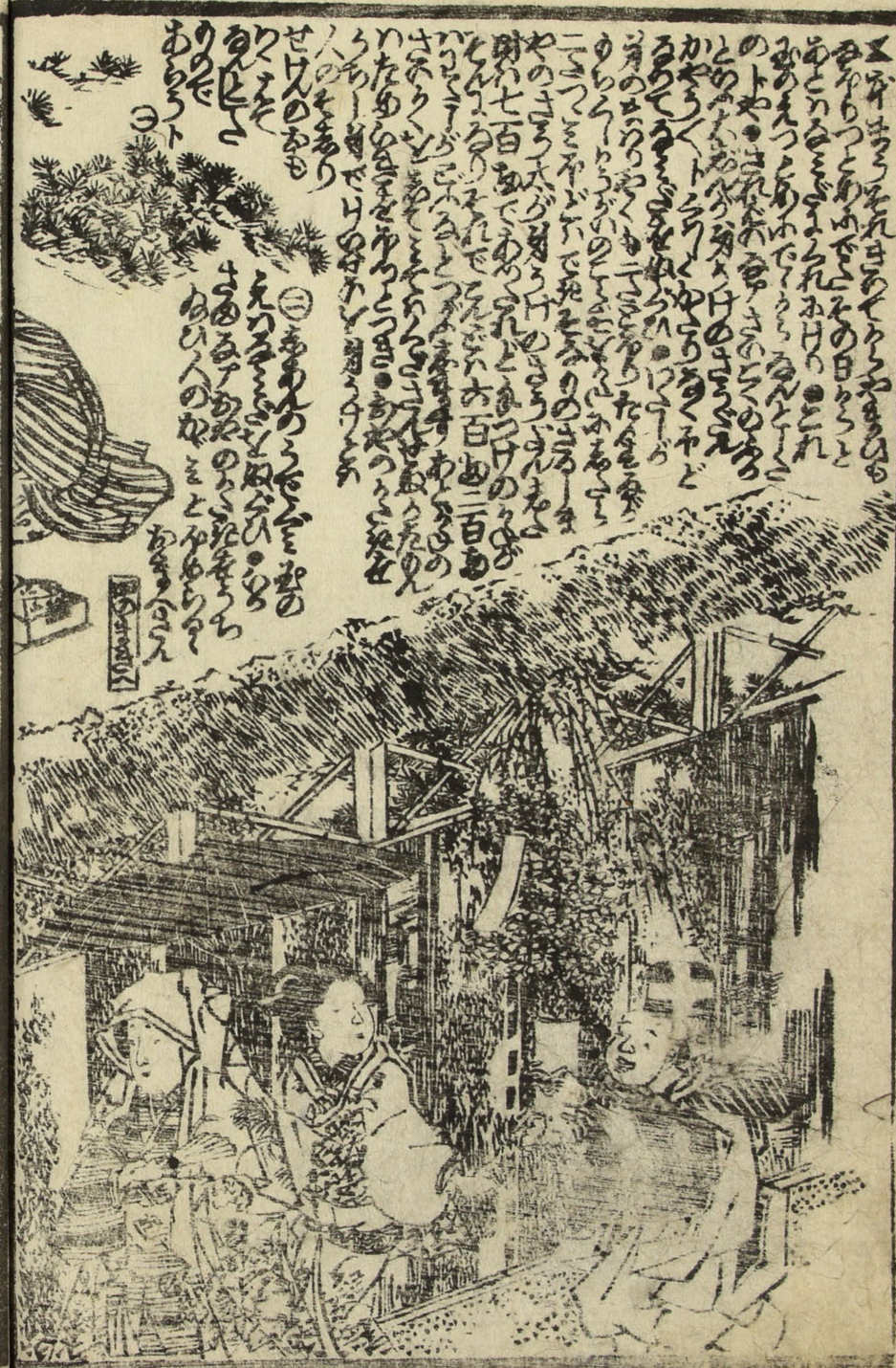
ちんう
松若丸
吾上川
口上

ちんか
さとし
松若丸

源氏
竹板五編


竹板五山画


左りん
森大八



かん平
第八左門かえるの段
第九ざるあんやうの段
長八
さろーま根太

ガン平
長太

長太八
才十かもりつくりの図

樵夫

左内
びんぼう神

竹取五編下終
左りん
ちのえ
京山作
國貞画